

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



「育ててみよう!!」朝倉小学校2年生の農業体験学習

朝倉小学校の先生から農林水産課への一本の電話相談で実現した今回の農業体験学習。地元の農家さんに協力していただき、校内の小さな3つの畑を利用して、オクラ・ナス・ピーマンという高知ならではの野菜を育ててみることにしました。

5月中旬、まずは育てる野菜の知識を増やすための勉強をしました。「オクラは冷たい所が苦手な地域で育つ」、「ナスは30以上もの種類がある」、「ピーマンは緑色のものは開花から20日で、赤いものは54日ぐらいで収穫ができる」ことなどを学びました。

そして畑に出て、苗の植え方や種の蒔き方を教わり、決められた間隔・深さで植えました。子どもたちとは、毎日朝夕2回の水やりの約束をし、この日の体験学習は終了しました。



6月中旬、3種類の野菜は花を咲かせたり、小さな小さな実をつけたりと、収穫が待ち遠しくなるような姿に成長していました。更に良い状態に成長してもらうよう、ピーマンとナスは支柱を取り付け、葉の重みで茎が折れないよう支柱と野菜を結ぶ作業と下の方に生えた葉を取り除く作業を、オクラは葉の裏にいるアブラムシを駆除しました。

そして、草引きをし、最後に土の中の水分の蒸発や草が生えるのを防ぐためにワラを敷きました。

「野菜は上に上に実がなっていくので、実を収穫したらその実より下の葉は芽引いてね」と農家さんに教えてもらい、体験学習は終了しました。

あとで聞くと、夏休み前に収穫したナスは浅漬けの素に漬けて、オクラとピーマンは茹でてマヨネーズやドレッシングをつけて試食し、夏休み中に収穫したものは2学期に入ってすぐに、みんなで夏野菜カレーを作って食べたとのことでした。



後日、子どもたちから農林水産課にお手紙が届きました。野菜の勉強ができてよかったこと、嫌いだった野菜が大好きになったことなどが書かれていました。そして何より自分たちで育てた野菜でカレーを作って食べたことが一番の喜びだったように思います。

農林水産課は、これからもこんな喜びを感じられる「食育」を応援していきたいと思っています。

